

# 木の家のすばらしさ

福井県にはたくさんの樹木がありますが、いちばん量の多いものが「杉」です。これは、戦後荒廃した森林の再生や旺盛な木材需要に対応することを目的として、昭和40年以降、拡大造林が積極的に行われたからです。杉は家づくりに適した粘りや堅さを持っており、水に強く、木肌も美しく、香りが特長です。

## 福井の気候風土に合っている

「木」は「育った土地で活用」してこそ、その真価を発揮するものです。

### 県産材をつかうことによるメリット

住まいとは、その土地の気候風土に合った暮らしやすさを追求して生まれたものです。冬には積雪があり、夏は高温多湿と比較的多彩な四季を持つ福井。その地で育った木を使った家は、その土地の気候風土にもっとも適しており、家が長持ちすると言われています。それに地元の木を使うことによって、経済効果として林業が成り立ち、山が整備されて福井の山が良くなっていきます。しかも、福井の木を熟知している地元の工務店が建てる家は、木の良さを最大限に引き出します。日本は、豊富な森林資源があるにもかかわらず、世界有数の木材輸入国です。地球温暖化を防止するため、地球環境を守るためにも、もっと県内の木を活用することが求められています。

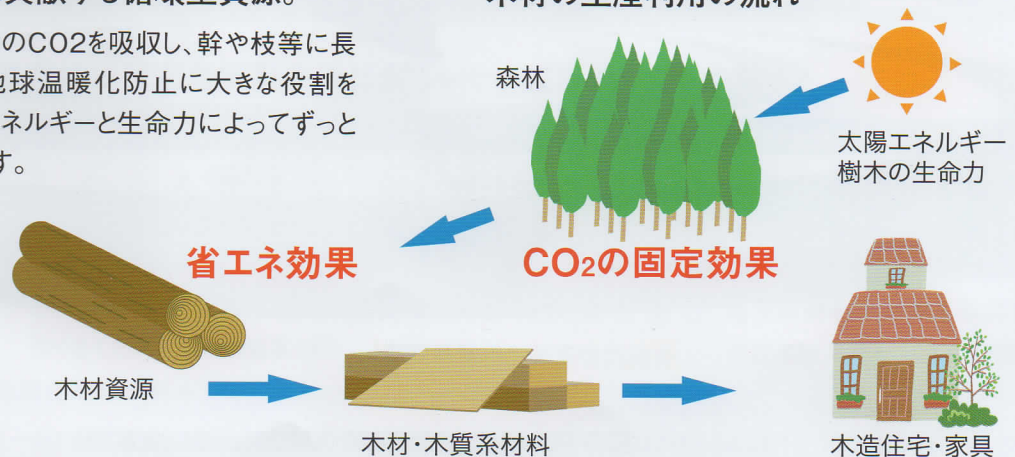


## 木材は自然に優しく、人に優しい

木材は地球温暖化防止に貢献する循環型資源。

森林は、光合成により、大気中のCO<sub>2</sub>を吸収し、幹や枝等に長期に渡って貯蔵することで、地球温暖化防止に大きな役割を果たしています。木材は太陽エネルギーと生命力によってずっと繰り返し利用することができます。

### 木材の生産利用の流れ



# 人に優しい家づくり

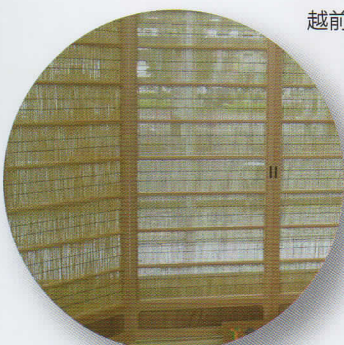
湿度は人間の健康と室内空間に大きな影響を与えます。木材は吸湿・放湿に富んだ材料で、周りの湿度が一定になるよう、自動調節する優れた調湿機能を有します。このため、木材を多く使った家の中は、湿度の変動が少なくなり、カビやダニの発生が抑えられ健康で、快適に生活することができます。又、木材の熱伝導率は、石や鉄よりも格段に低くて、断熱効果が高いのも特徴です。そして、「木肌の美しさ」「森林浴のような木の香り」で住む人の気持ちをほっと落ち着かせてくれるのも、「木の家」の魅力でしょう。



越前瓦と檜のよろい下見板張りの和風住宅



栗の木のキッチン



簾戸(すど)



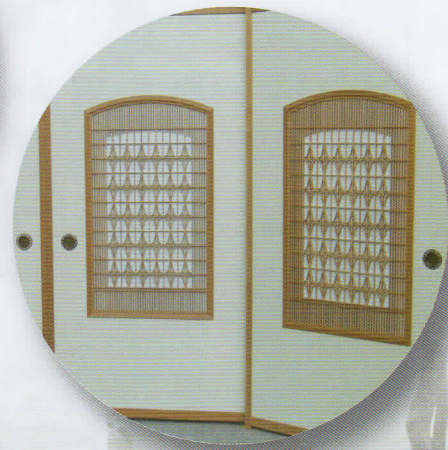
栗の木の洗面化粧台



杉を用いた出書院とケヤキの床の間



杉と竹を用いた和風玄関天井



組子細工の襖

